



平成29年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月12日

上場会社名 株式会社ジャパンミート 上場取引所 東
 コード番号 3539 URL http://www.japanmeat.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)境 正博
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理部長 (氏名)杉山 洋子 (TEL)03(6453)6810
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年7月期第1四半期の連結業績(平成28年8月1日~平成28年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年7月期第1四半期	24,587	—	905	—	937	—	532	—
28年7月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年7月期第1四半期 576百万円 (—%) 28年7月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年7月期第1四半期	19.95	—
28年7月期第1四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年7月期第1四半期	33,050	19,796	59.9
28年7月期	35,705	19,486	54.6

(参考) 自己資本 29年7月期第1四半期 19,796百万円 28年7月期 19,486百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年7月期	—	—	—	—	—
29年7月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年7月期の連結業績予想(平成28年8月1日~平成29年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	100,331	3.2	4,295	0.3	4,394	2.4	2,440	△4.6	91.46	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年7月期1Q	26,679,500株	28年7月期	26,679,500株
29年7月期1Q	一株	28年7月期	一株
29年7月期1Q	26,679,500株	28年7月期1Q	一株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は前年同四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、各経営指標について前第1四半期連結累計期間との比較分析に関する記載をしておりません。

(業績の状況)

当第1四半期連結累計期間(平成28年8月1日～平成28年10月31日)における我が国経済は、雇用環境は引き続き改善が見られるものの、現金給与総額の伸びは勢いを欠き、消費者物価もゼロから小幅なマイナス圏で推移するなど、経済見通しの不透明感があり、景気回復に向けて一部に弱さを抱えております。また、日本経済を取り巻く海外経済の先行きについては、米国では設備投資や輸出が伸び悩むものの、個人消費が景気を下支えする一方で、ユーロ圏ではBrexit決定に伴う先行き不透明感が投資などの下押し要因となっております。中国では財政出動による下支えが期待されるものの、資本ストック調整が重石となり、引き続き海外経済の先行きが不透明な状況にあります。これらの影響が日本経済において円高・株安となり、以前として企業の業況判断は悪化傾向にあります。

小売業界の経営を取り巻く環境は、残暑による秋冬商品の販売不振、台風や天候不順による客足減、青果物を中心とした生鮮食品、原料相場の価格高騰、消費マインドの慎重化の影響が景気の下押し要因となり、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは、お客様の暮らしの基本である食を通して、安心・安全を守り、価値感がある商品展開をすすめ、変化に富んだ店づくりをすることで、さらなるご支持をいただけるような店舗運営に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は24,587百万円、営業利益は905百万円、経常利益は937百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は532百万円となりました。

当社グループにおける事業セグメントごとの状況は、次のとおりであります。

① スーパーマーケット事業

スーパーマーケット事業につきましては、大型商業施設内店舗「ジャパンミート生鮮館」、関東圏単独店舗「ジャパンミート卸売市場」、北関東で展開する地域密着型店舗「パワーマーケット」、東京都内を中心に展開する業務用スーパー「肉のハナマサ」を展開しております。

いずれの店舗におきましても、来店される顧客が楽しんでお買い物ができる店づくりを目指し、当社グループの強みでもある精肉部門を中心とした生鮮各部門および一般食品から惣菜にいたるまで、それぞれの部門が商品力・技術力に磨きをかけ、顧客のニーズにあった価値感のある商品展開をすすめ、より安心・安全な商品を提供できるよう、努めてまいりました。

商品の販売につきましては、特定の商品を大量に陳列し、価値感がある商品を顧客へアピールをすることで購買意欲を高める「異常値販売」を定期的実施することで、顧客数及び顧客当たりの買上点数増加につながり、売上高が増加しました。

また、平成28年6月より茨城県東茨城郡に新設しました新加工物流センターでの大量かつ効率的な精肉加工に加え、店舗内においても必要に応じて精肉加工を行い、売れ筋に対応した商品の速やかな提供により販売機会のロス削減するなど、戦略的、効率的な販売に努めております。商品の仕入につきましては、当社の新加工物流センターにおける大量備蓄機能を活用することで、食材価格変動の影響を受けにくい商品仕入体制を構築し、採算の安定と商品在庫の確保を図ってまいりました。

当第1四半期連結会計期間の設備投資の状況は、平成28年10月に「肉のハナマサ」立川店(東京都立川市)を開店いたしました。また、既存店舗におきましては平成28年10月に「パワーマーケット」見川店、「ジャパンミート生鮮館」守谷店の改装を行いました。これにより当第1四半期連結会計期間末時点におけるスーパーマーケット事業の店舗数は76店舗になりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は24,109百万円、セグメント利益(営業利益)は851百万円となりました。

② その他

その他につきましては、主に「焼肉や漫遊亭」などの外食事業を展開しております。当第1四半期連結累計

期間におきましても、得意とする精肉の調達力、ノウハウを活かし、新鮮で高品質な料理を安価でご提供するよう努めてまいりました。また、おいしい商品と快適な食事空間を提供するという基本方針のもと、新メニューの開発をすすめ、他店との差別化を図り、お客様が楽しく食事ができる店づくりに努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は639百万円、セグメント利益(営業利益)は48百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間における流動資産は、前連結会計年度と比べ2,863百万円減少し、14,476百万円(前連結会計年度比16.5%減)となりました。主な要因は、前期末日が休日であったことから資金決済が当期に持ち越されたことを含む現金及び預金の減少2,285百万円であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間における固定資産は、前連結会計年度と比べ208百万円増加し、18,574百万円(前連結会計年度末比1.1%増)となりました。主な要因は、ジャパンミート生鮮館守谷店の改装工事及び肉のハナマサ立川店新店工事を含む有形固定資産の増加195百万円によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間における流動負債は、前連結会計年度と比べ3,093百万円減少し、9,425百万円(前連結会計年度末比24.7%減)となりました。主な要因は、前期末日が休日であったことから決済が当期に持ち越されたことを含む買掛金及び未払金の減少額2,335百万円及び法人税等の支払いによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間における固定負債は、前連結会計年度と比べ129百万円増加し、3,828百万円(前連結会計年度末比3.5%増)となりました。主な要因は、生鮮館守谷店の改装及び肉のハナマサ立川店を含むリース債務の増加額141百万円及び長期借入金の減少額29百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産は、前連結会計年度と比べ309百万円増加し、19,796百万円(前連結会計年度末比1.6%増)となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加額265百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成28年9月13日付発表の「平成28年7月期 決算短信」の記載から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,429	8,143
売掛金	969	1,001
たな卸資産	3,462	3,539
その他	2,479	1,792
流動資産合計	17,340	14,476
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,733	6,798
その他(純額)	3,904	4,035
有形固定資産合計	10,637	10,833
無形固定資産		
のれん	2,434	2,349
その他	166	156
無形固定資産合計	2,601	2,505
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,044	4,100
その他	1,109	1,162
貸倒引当金	△27	△28
投資その他の資産合計	5,126	5,234
固定資産合計	18,365	18,574
資産合計	35,705	33,050

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,444	4,790
短期借入金	846	846
1年内返済予定の長期借入金	399	419
未払法人税等	1,285	436
賞与引当金	279	144
その他	3,263	2,787
流動負債合計	12,518	9,425
固定負債		
長期借入金	2,475	2,445
退職給付に係る負債	275	286
資産除去債務	418	423
その他	531	672
固定負債合計	3,699	3,828
負債合計	16,218	13,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,229	2,229
資本剰余金	2,350	2,350
利益剰余金	14,763	15,028
株主資本合計	19,342	19,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149	193
退職給付に係る調整累計額	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	143	187
純資産合計	19,486	19,796
負債純資産合計	35,705	33,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)
売上高	24,587
売上原価	17,442
売上総利益	7,144
販売費及び一般管理費	6,239
営業利益	905
営業外収益	
受取ロイヤリティー	16
受取手数料	2
その他	20
営業外収益合計	38
営業外費用	
支払利息	5
その他	1
営業外費用合計	6
経常利益	937
特別利益	
受取補償金	99
特別利益合計	99
税金等調整前四半期純利益	1,037
法人税、住民税及び事業税	404
法人税等調整額	101
法人税等合計	505
四半期純利益	532
親会社株主に帰属する四半期純利益	532

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年8月1日 至平成28年10月31日)
四半期純利益	532
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	44
退職給付に係る調整額	0
その他の包括利益合計	44
四半期包括利益	576
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	576
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年8月1日至平成28年10月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年8月1日至平成28年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	スーパー マーケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	23,948	639	24,587	—	24,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	161	—	161	△161	—
計	24,109	639	24,748	△161	24,587
セグメント利益	851	48	900	4	905

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。